

ESA に関する FAQ：設定 XML ファイルのイーサネット MAC アドレスが原因で ESA のディザスタ リカバリに問題が生じることはありますか。

目次

[はじめに](#)

[設定 XML ファイルのイーサネットのMACアドレスは障害回復で問題を引き起こしますか。](#)

概要

この資料は設定のバックアップ ファイルが新しい ESA にロードされるとき設定 XML ファイルのイーサネットのMACアドレスが E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の障害回復で問題を引き起こす場合がある場合記述します。

設定 XML ファイルのイーサネットのMACアドレスは障害回復で問題を引き起こしますか。

別のアプライアンスに設定をアップロードする場合設定の MAC アドレスに問題がありません。コンフィギュレーション ファイルを検知する場合、これに類似したに検知するセクションを見ます：

```
<ethernet_settings>
  <ethernet>
    <ethernet_interface>Data 2</ethernet_interface>
    <media>autoselect</media>
    <media_opt></media_opt>
    <macaddr>00:c0:9f:41:cb:97</macaddr>
  </ethernet>
  <ethernet>
    <ethernet_interface>Data 1</ethernet_interface>
    <media>autoselect</media>
    <media_opt></media_opt>
    <macaddr>00:c0:9f:41:cb:96</macaddr>
  </ethernet>
</ethernet_settings>
```

障害復旧の状況では、新しい ESA の MAC アドレスはこのコンフィギュレーション ファイルから保存されたものと異なる可能性が高いです。これらの MAC アドレスはドキュメント原因でコンフィギュレーション ファイルにだけあります。それらはこのファイルが新しい ESA に復元されるとき競合か問題を引き起こしません。これらの MAC アドレスをアップデートする必要がありません。